

事業の目的

横手西部地区は、秋田県南東部の奥羽山脈と出羽丘陵に囲まれた横手盆地の中南部に位置し、雄物川の中流部右岸に展開する県内有数の水田地帯です。本地域では水稻を中心に、水田の畑利用による大豆、そば等の土地利用型作物のほか、野菜、花きを組み合わせた複合経営が行われています。

本地区の排水施設は、国営雄物川筋土地改良事業（昭和21年度～昭和55年度）及び県営かんがい排水事業（昭和40年度～昭和61年度）により造成されましたが、老朽化に伴い排水能力が低下しているとともに、降雨形態の変化及び土地利用の変化に伴い排水能力以上の排水が施設に流入し、たびたび湛水被害が発生しています。

また、排水施設は、築造後相当の年数が経過しており、老朽化が著しいことから、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しています。

このため、本事業では、施設への流入量の増加に対応した排水系統に再編し、老朽化した幹線排水路を改修するとともに、関連事業では、支線排水路を改修することにより、施設の維持管理の費用と労力の軽減及び湛水被害の軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものです。



大宮川幹線排水路における積ブロックの崩壊



石持川幹線排水路隣接道路の冠水被害



水稻の栽培状況



大豆の栽培状況



スイカの栽培状況

事業計画

受益面積

関係市	横手市	大仙市	合 計
水 田	9,055ha	16ha	9,071ha

整備水準

- 計画基準雨量
 - ・日 雨 量：107mm (1/10)
- 計画排水方式
 - ・計画排水方式：自然排水
 - ・許 容 湛 水：30cm 以上 24 時間以内

関連する事業

事 業 名	事業主体	受益面積	事 業 内 容
水利施設等保全高度化事業 (基幹水利施設整備型)	秋田県	2,133ha	排水路 6 路線 L=14.2km

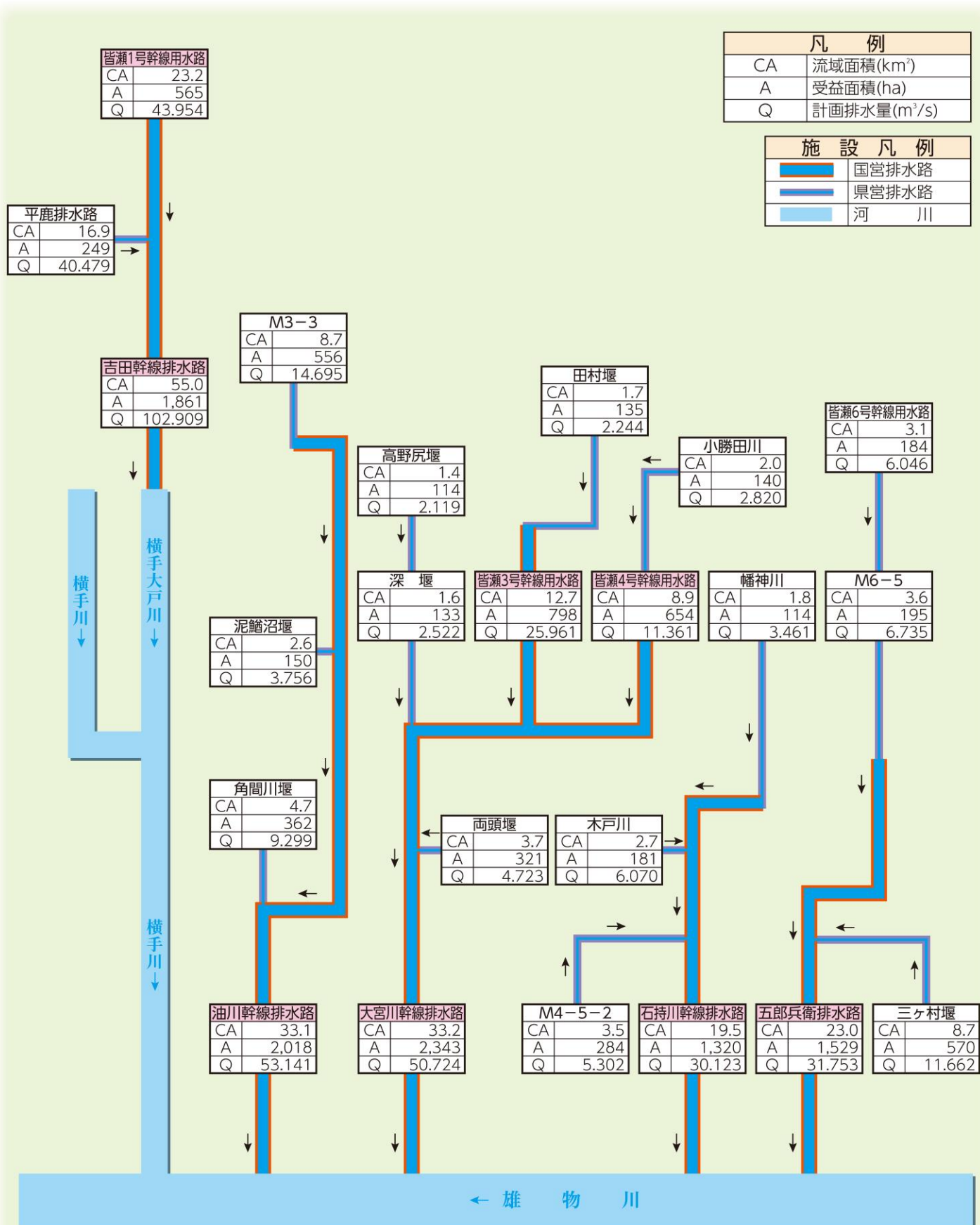
主要工事計画

施 設 名	造成年次	受益面積 (ha)	計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造
吉田幹線排水路	S46 ~ S52	1,861	102.909	9.7	ブロック、鋼矢板
油川幹線排水路	S40 ~ S46	2,018	53.141	11.1	ブロック、コンクリート
大宮川幹線排水路	S40 ~ S45	2,343	50.724	7.7	ブロック
石持川幹線排水路	S41 ~ S48	1,320	30.123	6.9	ブロック、鋼矢板
五郎兵衛排水路	S42 ~ S45	1,529	31.753	4.2	ブロック、コンクリート、鋼矢板
皆瀬 1 号幹線用水路	S37 ~ S53	(565)	(43.954)	3.3	ブロック、コンクリート
皆瀬 3 号幹線用水路	S43 ~ S48	[798]	[25.961]	3.8	ブロック、コンクリート
皆瀬 4 号幹線用水路	S42 ~ S48	[654]	[11.361]	1.5	コンクリート
計		9,071	268.650	48.2	

() は吉田幹線排水路と重複で内数
[] は大宮川幹線排水路と重複で内数

※コンクリートは、フリューム水路、L 形水路、現場打水路

計画排水系統模式図

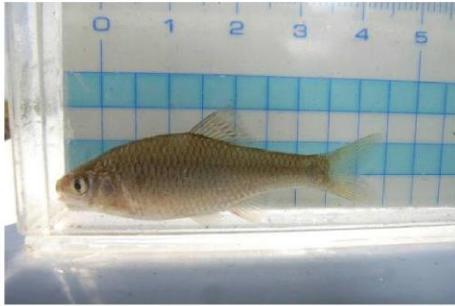


環境との調和への配慮

本事業においては、各市が作成した田園環境整備マスタープランとの整合を図りつつ、動植物の生息、生育環境や農村景観に配慮して事業を実施します。

具体的には、排水路の改修に当たっては、三面張り水路の底版に開口部を設けるなど、水路内の水生植物や魚類、底生動物の生育、生息環境に配慮します。

現地調査において確認された主な魚類は次のとおりです。



ヤリタナゴ



アカヒレタナカ



カジカ

工 期

- 平成 24 年度～令和 11 年度(予定)

総事業費

- 439 億円（令和 4 年度単価）
（ただし、物価変動等により将来変更することがあります。）



受益地から望む烏海山（田植え後）

国営事業地元負担金償還期間

- 事業完了後 17 年間（2 年据置 15 年償還）

予定負担割合

	国	県	市	農家
基幹施設	200/300	76/300	24/300	—
一般施設	200/300	71/300	18/300	11/300

※ 基幹施設は受益面積が1,000ha以上の区間